

県エルピーガス協会 詐欺防止に一役



独自に作った防犯チラシを配る県エルピーガス協会横浜緑支部の勝野支部長(右)
—緑区のJR十日市場駅前

多発する振り込み詐欺の防止に、県エルピーガス協会(古川武法会長)の加盟

事業者が一役買っている。昨夏から独自に啓発チラシを作り、プロパンガスの交

換や検針で家庭を訪問する際に注意を喚起。「顔の見える仕事の強みを防犯に生かしたい」と地道に活動を続けている。

県内で875社が加盟している同協会。このうち横浜市鶴見区や緑区などの支部ではそれぞれチラシを作成し、プロパンガス利用世帯への月1回の検針時に配るなどしている。お年寄りが多い地域もあることから、各署も防犯効果を期待している。

緑区では昨年末から1万世帯以上に配布済み。活動に協力している城田屋燃料店の佐藤正次さん(56)は、

「訪問先のお年寄りから相談を受けたり、危ない目に遭ったという話を聞いたりする」という。

8日には、同協会横浜緑支部メンバーがJR横浜線十日市場駅前で、緑署署員らと「振り込み詐欺撲滅キャンペーン」を実施、独自作成のチラシなどを配った。

同支部の勝野雅男支部長(50)は「地域のことをよく知っているのはわたしたちの強み。少しでも地域の安全、安心に貢献したい」と話していた。

(佐藤 将人)